

「出張フォーラム」の実施(2020年度実施の調査研究テーマについて)

当調査会の調査研究の成果を各市町村の皆様の業務に活用していただくため、当調査会の研究員が各市町村に伺い、調査研究の内容について説明を行う「出張フォーラム」を実施しています。

本年度は、6月1日(火)から8月31日(火)までを実施期間として、3～7ページで紹介した2020年度実施の調査研究のうち、基礎自治体におけるひきこもりの支援に関する調査研究を除いた4テーマを対象に実施しています。

基礎自治体におけるひきこもりの支援に関する調査研究については、2021年10月19日(火)開催のシンポジウムにおいて調査研究内容を発表するとともに、有識者の方々からご講演もいただきますので、ぜひご参加ください。

2022年度 調査研究テーマの募集結果

当調査会では毎年度調査研究テーマ選定の参考とするため、各市町村に対して調査研究テーマ要望の調査を行っています。今年度は、2022年度調査研究テーマについて4月から5月にかけて調査を実施しました。お忙しい中、ご協力いただきました各市町村職員のみなさま、ありがとうございました。

お寄せいただいたテーマについては、集計し、6月9日付文書で各市町村の企画担当課にお送りしていますので、ご確認ください。

また、テーマ募集とあわせて、調査研究報告書の活用状況に関するアンケートも実施しております。このアンケート結果につきましては本誌11月号で報告する予定です。

編集後記

今号では、市町村の皆様にご協力をいただいた調査研究に関するアンケートを基に、多摩・島しょ地域の現状を分析しつつ取りまとめた調査研究報告書を紹介しています。

当調査会では、多摩地域の各市から派遣された職員が、研究員として行政課題の調査研究を行っています。調査研究を進めるにあたっては、各課題について、自治体のあるべき理想像とは何か、その理想と現状にギャップはあるのか、あるのであればそのギャップを埋める取組にはどのようなものがあるのか等、日々議論を重ね、自治体職員の日線から解決策を探っています。

また、各報告書の作成にあたっては、それぞれ複数の有識者や先進的に取り組まれている自治体の方々にお話を伺っています。昨年はコロナ禍であったため、有識者や自治体の方々に直接お会いできないこともありましたが、Web会議等も活用しつつ、報告書にも掲載しているとおり自治体の取組の参考となるお話を伺うことができました。

報告書は、各調査研究内容についてわかりやすく伝わるよう工夫を重ねています。ぜひ業務の参考としてご一読いただけると幸いです。(T.O)

発行 公益財団法人 東京市町村自治調査会
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館 4階
TEL : 042-382-0068
URL : <https://www.tama-100.or.jp>
責任者 小暮 実

本誌のバックナンバー等をご覧いただけます